

no 22

2008 autumn

月刊レジャー産業資料
10月号別冊

ENTERTAINMENT
+
BUSINESS



>> E+ PROJECT REPORT

富士急ハイランド「ナガシマスカ」



富士急ハイランド 「ナガシマスカ」



高さ18mから円形ボートでラフティング “遊び心”に富んだ水流ライドが人気博す

富士急行(株)は2008年7月26日、富士急ハイランド(山梨県富士吉田市)に日本初となる巻上げ型水流ライド「ナガシマスカ」をオープンした。これは、ファミリー層に人気の高かった「ロッキースライダー」(74年設置)

の老朽化に伴い、その跡地を利用して開発、建設したものの。

ナガシマスカは、4人乗り円形ボートがアルミ板のコンベヤーに乗って地上18mの高さまで登った後、激流



1. 「ナガシマスカ」全景。燦然と輝く金箔の招き猫は、ナガシマスカのキャラクター的存在といえる。地上10mというそのスケールの大きさに、見る者は圧倒される

2. 愛の伝道師「飛沫三十郎」が待ち列に登場し、アトラクションの説明をしながら、順番待ちの客とともにコース途中で行なう拍子の練習をする。その拍子の大きさによっては、客に水がかかることもある



3. エントランスに設置された鳥居には、「濡れて怒るは一生の恥。」「濡れる角に恋来たる。」と書かれたユーモア溢れるお札が貼られ、ムードを盛り上げている。右手の絵馬掛所には思い思いの願い事が書かれた絵馬がかかる

4.5. 夏休み期間中、最大3時間半待ちとなった。4人乗り円形ボートは、シートベルトを着用する。水に濡れないよう、ほとんどの人が雨合羽(100円で販売)を着ていた

6. ボートが水路に入り、所要時間約4分30秒のアトラクションがよいよスタート



のなかを一気に下るというラフティングに似た体験が楽しめる新しいタイプのアトラクション(ドイツHAFEMA社製)。

全長約500mに及ぶコースは、ストレート、スパイラル、キャメルバック、ワール(渦巻き状)と変化に富み、ボートは回転しながら水飛沫をあげて進むが、“水にかかればかかるほど厄がきれいに落とされ恋愛が成就する”というコンセプトのもと、コース途中には乗客に向けて水をか

ける場所を数か所設けている。実際、アトラクションを終るとかなり濡れることになるが、猛暑に見舞われた今夏は濡れることがかえて乗客には“快感”のようで、夏休み期間中は最大3時間半待ちがでるほどの人気があったという。

こうした水による仕掛けのほか注目されるのが、ナガシマスカのシンボルとして中央の池に設置された地上10mの夫婦2体の招き猫。金箔で覆われた招き猫は、



- 7.-----
最初に鳥居をくぐると、両
サイドの柱に仕掛けられた
ノズルから霧が降りかかる
- 8.-----
円形ボートはアルミ板の巻
上げ型コンベアーにのっ
てゆっくりと地上18mの高
さまで上がっていく。右手
には富士山の壮大な景観
を眺めることができる
- 9.-----
スパイラル、キャメルバック、
渦巻きと変化に富んだ
コースをボートは回転しな
がら一気に下り、乗客はラ
フティングに似たスリルを
体感する



同アトラクションのランドマークとしてひととき異彩を放ち、招き猫をバックに記念撮影をしたり、そのご利益にあやかろうとお賽銭を投げるカップルやファミリーの姿が多く見られた。

またアトラクション出口には、ナガシマスカのオリジナル商品を販売するショップ「ナガシマ商會」を併設。池の蓮に2人でコインを投げ込み、うまく入ると恋愛が成就するというストーリーによる「恋愛コイン」や絵馬、「厄落

としチョコランチ」など購買意欲をそそるような商品を豊富に取り揃え、物販にも力を入れている点も見逃せない。

富士急ハイランドといえば、これまで「ええじゃないか」「ドドンパ」「フジヤマ」など絶叫マシンで知られるが、斬新なアイデアを盛り込んだアトラクションを戦略的に導入することで話題を提供し、首都圏を中心に堅実な集客を図ってきた。今回のナガシマスカの開発にあたって



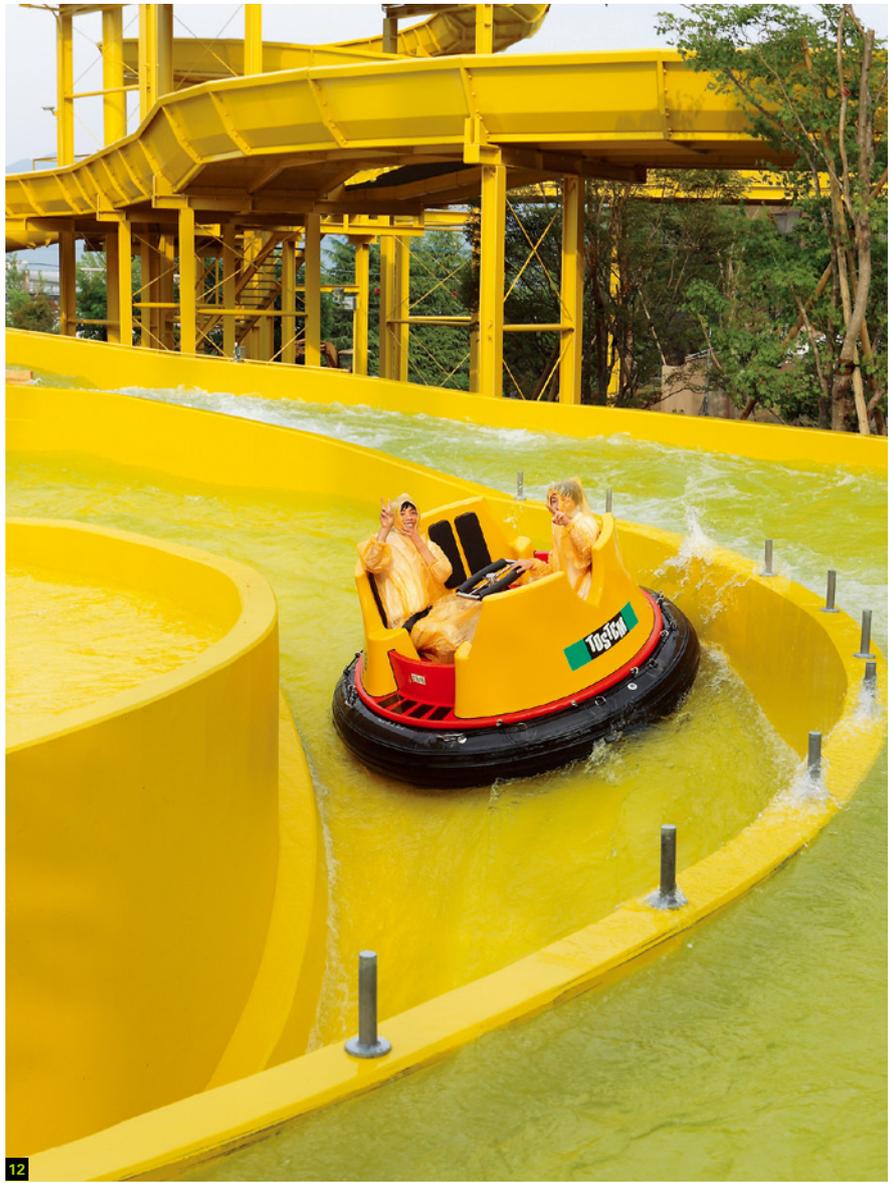
10



11

10.-----
「キャメルバック」と呼ばれるアップダウンの続くポイントで、ボートは上下に大きく揺れる

11.12.-----
キャメルバックを過ぎると、ボートは加速しながら渦巻きコースの中へ吸い込まれていく



12



13



14

13.14.-----
渦巻き状の水路を2回転した後、ボートはコース両側から水柱が上がるコースを進み、水飛沫をあげながら池の中へ突入する

は、社内にて開発チームを立ち上げ、演出やネーミングについてかなりの時間をかけて協議を重ねたという。単に水路を下って水に濡れるのではなく、濡れることで厄が落ちる、あるいは恋愛が成就するというストーリー性を織り込んでいる点がこのアトラクションの楽しさを一層高めているといえる。

今夏富士急ハイランドは、このナガシマスカの導入により大きな集客を上げたようだ。同ランドの主要客層

は20代であるが、ナガシマスカはカップルをはじめファミリー層の取り込みにも成功しており、同社では「ええじゃないか」などと並ぶアトラクションとして今後の集客にも期待を寄せている。ただ、水に濡れるアトラクションであるため、寒さが厳しいウインターシーズンの対策が不可欠となるが、その対策について、目下社内で検討を行っており、どのような仕掛けが新たに導入されるのか関心がもたれる。



15



16



カップルやファミリーも楽しめる これまでにないラフティングライドを目指しました



富士急行株式会社
企画部プランナー
渡部 祐介氏

ロッキースライダーは富士急ハイランドのなかでも、入園者の約3割が乗るといって非常に高い人気でしたが、1974年の導入ということもあり老朽化が進んでいました。新アトラクション導入にあたり、やはりウォーターライド系のアトラクションがほしかったのです。同時に富士急ハイランドらしいものにしたという考えがありました。当社ではコースターにこだわっている部分がありますので、今回はHAFEMA社のライドに注目したわけですが、誰もが乗ったことのないものをつくろうとスタッフ一同、取り組みました。社内に「ナガシマスカ」開発チームを立ち上げプロジェクトを進めましたが、アトラクションの内容とネーミングがキモの部分です。チームスタッフがそれぞれアイデアを出していき、演出については300以上、名前については400以上のアイデアを出し、喧々諤々、熱い議論を交わしました。

具体的なプランとしては、お客さまに写真を撮ってもらえるようなものを目指しました。ナガシマスカに乗ればその楽しさは必ず体感してもらえるという自信がありましたので、それよりもさらに一歩先の、たとえば写真を撮ってもらい、帰ってから友人に写真を見せながら「ナガシマスカはすごかった!」といってもらえるものです。そうした意味からも、周りからアトラクションが見やすいレイアウトになっていますし、待っている時間も楽しんでもらえるよう、高さ10mの巨大な招き猫や乗車前のプレショーでは案内役の飛沫三十郎が登場したり、演出面でも面白い仕掛けをしています。池のなかに招き猫を置いて総金箔塗りにしたのはアトラクションのシンボルとして遠くからでも目立つようにしたかったからです。招き猫の前に賽銭箱を置いていますが、招き猫に願い事すると、恋が叶うといった噂などがたつてくれば、非常におもしろいのですが…。

カップルだけではなく、ファミリーでも十分に楽しめるアトラクションに仕上がっていますので、大勢の人に乘っていただきたいです。冬季についてはその対策を考えていますので、ぜひ楽しみにしてください。

ランニングコストを抑え4つのコンビネーションが 楽しめる世界初のウォーターライドです



阪和興業株式会社
機械部レジャー施設課
課長
渡辺 安彦氏

昨年9月に富士急行さんからロッキースライダーのリニューアルのお話がありましたが、私はちょうどその時出張でドイツを訪問しており、ウォーターライドで世界的評価の高いHAFEMA社の社長とお会いしていました。早速、何かよいものがないか現地の遊園地を視察・試乗したところ、HAFEMA社製の9人乗りボートライドが非常に面白かったので、このボートを使ったアトラクションをご提案させていただきました。

コースは全長500mと長いですが、最初にストレートドロップ、次にスパイラルドロップ、キャメルバックドロップ、最後に

ワールプールと続き、この4つのコンビネーションから構成されるウォーターライドは世界にありませんし、円形ボートでコースターのように下るウォーターライドは日本ではナガシマスカが初登場となりました。

設計面では、ロッキースライダーでは地面から最上部まで1つの経路で水を上げて流していましたが、今回は水の経路を3系統にすることで1ポンプ当たりの容量は低く抑えることが可能となりました。また3か所それぞれで異なる水量により流れの調整を行なうことで、遊びのバリエーションがいろいろできるように工夫しています。

身長110cm以上の子どもから乗車することができるので、ファミリーを含め幅広い層に楽しんでいただけます。おかげさまで利用者から高い評価を得ておりますので、これからもいろいろなご提案をしていきたいと考えています。

プロジェクト概要

- 施設名
富士急ハイランド「ナガシマスカ」
- 所在地
山梨県富士吉田市新西原5-6-1
- オープン / 2008年7月26日
- 事業主体 / 富士急行株式会社
- アトラクション概要
 - ・コース全長 約500m
 - ・高さ 18m
 - ・定員 4人/台
 - ・最大速度 約29km/h
 - ・最大運転台数 120台/時
 - ・キャパシティ 480人/時(理論値)
 - ・出発間隔 約30秒(最短発車間隔)
 - ・所要時間 約4分30秒
 - ・乗車制限 身長110cm以上
※66歳以上は利用不可
 - ・料金 800円(フリーパス利用可)
- 投資額 / 約11億円



15.16.-----
「大きく二回手をたたきな
い!」と書かれた看板の前
に来ると、乗客は「バン、
バン」と2回手をたたき。そ
の拍子の大きさ(愛の大き
さ)によって、招き猫から
「浄めの水」がかかる



17.18.-----
コース終盤は、水を満々とた
たえた巨大なタイゲが待ち
受ける。水がかかるかどうか
は、飛沫三十郎と順番待ち
の客によって決められる

19.-----
ボートを降りて出口に向かう
途中、桟橋で記念撮影を行
なうカップルやファミリーが
多い(参詣橋内はナガシマ
スカ利用者のみ立入り可)





阪和興業株式会社

機械部

レジャー施設第一課

〒541-8585

大阪市中央区伏見町四丁目3番9号

TEL.06-7525-5142

FAX.06-7525-5302

レジャー施設第二課

〒104-8429

東京都中央区築地一丁目13番1号

TEL.03-3544-1908

FAX.03-3544-2252

<http://www.hanwa.co.jp/>